

# 青年部

http://www.fcci.or.jp/fyeg/  
PRESS

勤労者・学生・社会人・主婦・高齢者・外国人・障害者・その他  
45歳以上、性別不問、年齢不問、学歴不問、職業不問、収入不問、希望の年齢を問わず、希望の方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

福井商工会議所  
青年部事務局

TEL. 0776(33)8253

FAX. 0776(36)8588

E-mail:jigyuu@fcci.or.jp

## 『ふくい型キャリア教育プログラム』の構築に向けて

### 『ふくい型キャリア教育フォーラム2014』を開催！

11月8日(土)に、福井県立大学を会場として『ふくい型キャリア教育フォーラム2014』を開催しました。当フォーラムは、平成23年から毎年開催され、福井県内でキャリア教育に取り組む団体等(福井商工会議所青年部〔主管〕、(公社)福井青年会議所、福井経済同友会、福井市PTA連合会、(公社)福井法人会、福井県経営者協会)で実行委員会を組織し、先進的に活動している経済界と行政及び教育機関、そして保護者団体等との協働によるさらなるキャリア教育の推進に向けて、議論や情報発信を行っています。4回目を迎える今回は、従来の講演やディスカッションに、各団体が取り組むキャリア教育プログラムの「発表・実演」を新たに加え、参加者にキャリア教育の現場を直に見ていただき、その推進を考えたらおうと企画しました。当日は、企業経営者、教職員、保護者等約200名にご参加いただき、非常に内容の濃いフォーラムとなりました。



パッション溢れる川村先生の講演

県立春江工業高校教諭の川村忠義野球部監督による基調講演では、当校を甲子園出場に導いた教育手法等についてお話いただきました。生徒の中から複数のリーダーを擁出し、そのやる気を引き出す日々のコミュニケーションにより、リーダーを中心とした自主的な活動につながっている点は、経営者目線での取り組みでもあり、組織を動かす手法として大変参考になりました。また、各団体のキャリア教育プログラムの実演では、参



各団体がキャリア教育プログラムを実演

加した子供たちが仕事の現場を実体験して感動し、その様子を見学していた参加者も体験プログラムの内容について感心していた様子でした。最後のディスカッション「キャリア教育サミット」では、実行委員会メンバーの経済団体や国、福井県、福井市の教育行政関係者、他地域でキャリア教育を推進している団体が、幼児からの一貫した『ふくい型キャリア教育プログラム』の構築に向けて何をすべきかを議論しました。中でも、文部科学省の長田徹初等中等教育局教科調査官による青森や仙台の先進事例を交えたキャリア教育の取り組み方の説明は、私たちの今後の活動の参考になるものでした。また、沖縄でキャリア教育に取り組む沖縄キャリア教育支援ネットワークオーション21代表の翁長有希氏は、「福井における個々のキャリア教育の取り組みはレベルが高く、それを生かしていくためにも、個々の取り組みを繋ぐグラン



関係者が一同に会してディスカッション

ドデザインを描ける組織が必要」と指摘しました。私たち青年部が取り組んでいるキャリア教育推進事業「アントレ・キッズ」は、学校やPTA等から実施相談や依頼を多くいただいています。残念ながら私たちがも本業を抱えながらの活動のため、ご要望全てに応えることは難しいのが現状ですが、「関係者がお互いの理解をより深めることが『ふくい型キャリア教育プログラム』構築の近道」というディスカッションでの意見を踏まえ、継続して「アントレ・キッズ」事業に取り組む、学校やPTA等の理解や連携を深めていきたいと思えます。また、青年部が主導して、このフォーラムの開催等、関係者が相互理解を深め、協働する活動を拡充し、福井のキャリア教育が全国に発信され、福井だけでなく、日本を支える人材の育成、確保に結び付くよう、私たち自らが汗をかいて取り組んでいきたいと考えています。

(キャリアアサミット委員会委員長

中川知士(前中川鉄工))